

令和6年能登半島地震における建築物構造被害の原因分析を行う委員会（第4回）
(第28回 建築構造基準委員会)

議事要旨

日時：令和7年12月12日（金）17:00～19:00
国土交通省住宅局局議室（web形式との併用）

1 開会

2 議事

- (1) 最終とりまとめ報告（案）について
(説明のみ)

(2) 質疑応答

<木造建築物について>

- ・穴水町と鳳至町の比較について、どういう意味を持つのかわかるよう、調査結果を簡潔にまとめてほしい。
- ・上部構造のみの耐震改修の分析に関する背景を記載してほしい。

<転倒が確認された鉄筋コンクリート造建築物について>

- ・杭基礎を有する鉄筋コンクリート造等建築物で転倒被害が確認された初めての事例について、地震動による転倒被害に関する記載を希望する。
- ・何の沈下かわかりやすく記載してほしい。また、図4について、図中の矢印などが何を指すのか補足した方がよい。
- ・地盤の支持力の前提として、杭が喪失した後であることを記載した方がよい。
- ・今回のケースが現行基準以前に建築された建築物において、どの程度起こりうると考えているか記載できないか。

<地震被害と建築物の継続使用性について>

- ・ライフライン途絶時の対策は、水に関する対策だけをすればよいと捉えられないよう、電気やガスも含めた全般の対策が必要であることを記載してほしい。

<全体について>

- ・(その他、個々の表現等について指摘・質問があった。)

(3) その他

3 閉会

以上